

ジオパーク探検!

八森小学校5年生の総合学習でジオパーク探検を行いました。八森小学校の総合学習では「白神のよさを考え、ふるさとを愛する心を育てる」ことをねらいに、各学年で様々な取り組みが行われています。そこで、ジオパーク探検では八峰町の自然や歴史的建造物などを探検・学習し、町外の人に伝えるためのチラシを作成しました。



子どもたちが作成したカラーA4判のチラシ。

ジオパーク探検は昨年の9月から11月にかけて計5回行い、案内は八峰町白神ガイドが務めました。地質・地形のことだけではなく、その上に成り立つ生態系や文化についても分かりやすく解説しました。

- ① 鹿の浦展望台、白瀑神社
- ② 三十釜、ぶなっこランド森林科学館、流水実験
- ③ 留山
- ④ 発盛鉱業所跡（中央公園・中浜海岸）、椿海岸の柱状節理
- ⑤ 林教授との探検&実験

ガイドは、いつも目にしていく地域の身近な場所でも、今まで知らなかった自然の仕組みや魅力があることを伝えました。子どもたちはチラシを作成するため、メモを取り、質問をしていました。また、自然の中で遊び、自然を注意深く観察する楽しさを学びました。



発盛鉱業所跡でガイドの説明にメモを取る子どもたち。

また、探検では子どもたちがタブレットを使って見どころの写真を撮影しました。構図や撮る角度を工夫しながら、思い思

いに写真を撮っていました。探検終了後、ジオパーク推進協議会でコンテストを行い、撮影されたものからベスト写真を選定しました。

林先生が登場!

探検5回目はまとめの回として秋田大学の林信太郎教授を講師に、段丘の観察の後、講義や実験を行いました。

林先生は東北全体の地質・地形から見た八峰町の特徴や、身近な自然を観察して分かることなどを解説しました。例えば、八峰町、特に八森の地盤のほとんどは安山岩という硬い岩石でできていることに触れ、地震が発生したときに比較的揺れにくい地域だと説明しました。

また、林先生の指導の下3人1組になって「小麦粉の断面実験」を行いました。これは、小麦粉とココアの重なりを地層に見立てて断面を作るモデル実験で、子どもたちは層が均一になるように慎重にココアを重ねていました。



林先生の講義を真剣に聞く様子。

協力隊三輪の感想

「八峰町ってどんなところ?」「八峰町にはどんな魅力がある?」といった素朴な疑問に立ち返ってジオパーク探検を実施しました。僕は八峰町に住み始めてから2年なので、子どもたちの方が町に住んでいる期間が長いです。一緒に探検していると、町について教えてくれることもありました。僕自身も勉強になったし、一緒に探検出来てとても楽しかったです。

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

TEL 018-26632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-77-3086